

# ネピアアテンダー ケア通信 Vol.3

発行元: 王子ネピア株式会社  
ケアサポート事業本部  
東京都中央区銀座5-12-8  
王子ホールディングス 1号館  
編集・制作: 株式会社ジェイ・キャスト  
発行人: 取締役 ケアサポート事業部長 須東 亮一  
発行日: 平成26年1月15日



## 介護業界 の現在

### 介護保険を甦らせる「ケアマネ改革」 訪問看護・リハビリで介護予防が動き出す

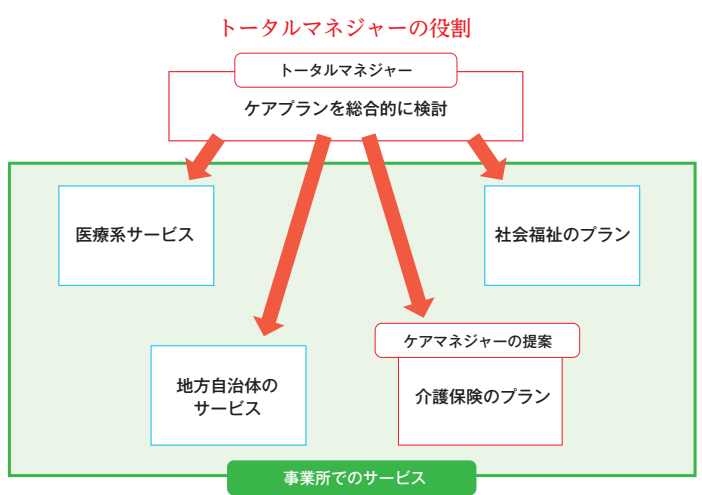
「介護保険の質を決めるのはケアマネジャー（以下ケアマネ）ですが、レベルの低さを指摘する関係者の声は多い。ケアマネ改革が必要だ」とは、健愛クリニック所長の増子忠道氏だ。近著「やりなおし介護保険」（筑摩書房）で主張したケアマネ改革案を聞いた。

増子氏は長年、医師として介護の現場に立ち会ってきたが、必要な医療を行えない介護保険制度に不満を抱いている。「訪問看護が必要だとケアマネに提案しても敬遠される。なぜなら、訪問看護がどういふときにどれだけ必要かをわかっていないケアマネが少ないから。訪問リハビリの必要性もわからないなど、医療関連の知識が足りないケアマネが多いのです。また、要介護度に応じて支給限度額が設定されているので、点数の高い訪問看護や訪問リハビリは、ケアマネが提供したくないのです」

訪問看護・リハビリは介護予防の観点から不可欠なもの。これが十分にできないとなると、要介護者を増やすことになる。ではどうするか。増子氏は2つの提案をする。第一は、訪問看護・リ



増子忠道(ましこ・ただみち)氏  
医療法人財団健愛会 健愛クリニック所長  
1963年東京大学理三類入学。71年柳原病院に入職。92年東京都第1号の訪問看護ステーション設立。94年看護師とホームヘルパーによる24時間巡回型在宅ケアを開始。2010年から現職。



「介護保険の質を決めるのはケアマネジャー（以下ケアマネ）ですが、レベルの低さを指摘する関係者の声は多い。ケアマネ改革が必要だ」とは、健愛クリニック所長の増子忠道氏だ。近著「やりなおし介護保険」（筑摩書房）で主張したケアマネ改革案を聞いた。

「支給限度額をいっばい使うのが利用者の権利だ、と考えるケアマネがいます。そうではなく、支給限度額未達のサービスですんだ利用者の使わなかった分を、サービスが必要だが、支給限度額を超えてしまい利用できない人に分配するのです。ただ、介護保険財政を圧迫させないために、入事業所全体の利用者の平均支給限度額×事業所の利用者数で求められる『平均総額』を超えないようにします」

また増額する場合でも、各人の支給限度額の1.5倍以内を上限とする。1.5倍とは、増子氏が数多くの現場で見た実態を基に、重い要介護度の人でも在宅生活できる額から逆算した。

「もし前記の『平均総額』

## 介護の現場を体験 私の眼 「普通のこと」から 介護を「特別」に

◎上智社会福祉専門学校（東京都）

「友人に介護を勉強している、と言うと『そんな大変そうなお仕事、大丈夫なの？』と驚かれます。介護は親や自分にも必要になりますし、無駄にはなりません。無駄にはならないと思います」

上智社会福祉専門学校（介護福祉科）に通う成宮真理さんは、母親の介護経験がきっかけで介護サービスに興味を持ち、社会人入学で勉強を始めた。異業種からの転身で、不安はなかったのでしょうか。

「むしろ、利用者の方との距離が近いことに魅力を感じました。実習でも直接お話をしては笑顔を見せていただいたりなどして、前職では経験できなかったことがはかりました」

社会人としての経験をユーザーの方とのコミュニケーションに生かすこともでき、ハンディを感じることはないそうです。

「この経験を通じて、介護業界から世の中に働きかけることができればいいなと思っています」

「友人に介護を勉強している、と言うと『そんな大変そうなお仕事、大丈夫なの？』と驚かれます。介護は親や自分にも必要になりますし、無駄にはなりません。無駄にはならないと思います」

上智社会福祉専門学校（介護福祉科）に通う成宮真理さんは、母親の介護経験がきっかけで介護サービスに興味を持ち、社会人入学で勉強を始めた。異業種からの転身で、不安はなかったのでしょうか。

「むしろ、利用者の方との距離が近いことに魅力を感じました。実習でも直接お話をしては笑顔を見せていただいたりなどして、前職では経験できなかったことがはかりました」

社会人としての経験をユーザーの方とのコミュニケーションに生かすこともでき、ハンディを感じることはないそうです。

「この経験を通じて、介護業界から世の中に働きかけることができればいいなと思っています」



上智大学キャンパス内にて

## 注目のトピックス

- ネアンデルタール人も高齢者介護**  
歯が抜け、障害のため歩くこともできなかった高齢のネアンデルタール人が、仲間から介護され、死後は手厚く埋葬されたとする研究論文が16日、発表された。  
2013/12/17 AFPBB News
- 介護保険自己負担160万円以上から2割**  
厚生労働省は17日、介護保険の自己負担割合を現行の一律1割から2割に引き上げる対象者について、収入から公的年金や給与の控除分などを差し引いた「合計所得金額」が年間160万円以上の人とする方針を固めた。  
2013/12/18 毎日新聞

## おむつ塾 便り



### Vol.1 紙おむつの構造・安心と快適の秘密 (王子ネピア ケアサポート事業本部)

王子ネピア ケアサポート事業本部の出張教室「ネピアアテンダーおむつ塾」が、今号から5回にわたりケア通信に登場します。介護する人・される人が快適に、また経済的に紙おむつを使えるように、知識や知恵をご紹介します。第1回は「紙おむつの構造」。素材と工夫が生み出す、使い勝手の良さを知しましょう。

まず、肌に触れる面。ここには「不織布」が使われています。不織布は、繊維の間を水が通り抜けることができます。尿はまずここを通過してその下の「吸水マット」に浸透します。水分は内部までしっかり吸収されるため、表面はさらさらな状態に保たれます。

吸水マットは吸水紙、綿状パルプ、そして

塩の結晶のように細かいポリマー（写真①）できており、一度吸収した尿は逃がしません。なぜでしょうか？ 実験を見てみましょう。

尿パッド「エクストラ600」に、500mlのペットボトルの水（青く着色）を2本注ぎました（写真②）。あっという間に水を吸ったパッドはずっしり重くなりますが、不織布は既に乾いた状態に戻ります。表面を破ると、粒ゼリー状に膨らんだポリマーが出てきました（写真③）。これは指で強く押しつづれません。ですから、体重がかかってもいったん吸収した尿を逃がさないのです。

【ここに注意】ポリマーをひとつまみコップに入れ、少量の水を加えるとみるみる膨らみます。コップを逆さにしても落ちません（写真④）。加水すればさらに膨張するので、口に入ると窒息する危険があることがわかります。飲み込んだ場合は、口からすくにかき出し速やかに医師にご相談下さい。

すばやく尿を吸収したら、次は漏れ防止。横からの漏れを防ぐのは、撥水性の「立体ギャザー」です（写真⑤）。そしておむつの外側全体は「高通気性シート」がガード。抜群の防水力だけでなく、全面にあいたミクロの穴が内側の湿気を外に逃がす特殊シートです。おむつ内環境を快適に保つスグレモノです！

写真は、おむつ塾マネージャーの磯山佳子さん



# 施設での快適生活をサポート

**山形** コンセプトは「ホテル」をイメージしてあります。スタッフはおもてなしの心でご入居者に接するようにしています。

**清水** それで、スタッフさんの制服も、ホテルをイメージしたものなんです。ケアスターさんは、こういった役目を担っていらっしゃるのですか？

**山形** 私どもは、コンセプトに合致した家具や備品、安全かつ利便性の高い福祉用具などをご提案しながら、快適な生活の創造をサポートするのが役目です。日用品や医療機器関連、紙おむつなどの消耗品をワンストップで購入できるサービスシステムを構築しています。私どもに相談することにより、スタッフがご入居者のために接する時間を増やしてほしいという思い

で日々活動しております。

**清水** ケアスターさんが弊社の勉強会「おむつ塾」を開催したのにも理由があるんですね。

**山形** 紙おむつを提供するだけでなく、きちんと商品情報を伝え、良いものを正しく使うことがスタッフやご入居者の安心感につながることを考えています。今後、様々な勉強会、研修会に力を入れていきます。

**清水** 商品を正しく理解していただくことは、とてもありがたいですし、励みになります。こちらの施設の看護体制は、どのようになっていますか？

**山形** 高い技術を身につけたスタッフが24時間

から、福祉用具以外の日用品のご相談もありません。そのため、11月に発注サイトを構築しました。これにより福祉用具、健康、生活関連商品を総合的に提供でき、さらに顧客満足度を高めていきたいと思います。

**清水** 今後の目標をお伺いできますか？

**山形** ご入居者に喜んでいただける品揃えをしていきます。また、メディカル・ケア・サービスへの商品供給ノウハウを活かし、介護施設運営に携わっている方々への業務効率化に向けた支援を行ってまいります。

**清水** 本日は、お忙しいところありがとうございます。



間体制で常駐しております。それだけでなく、地域の医療施設にご協力いただき、緊急時はこちらのこと、日常の往診や透析・歯科医療・リハビリなど、生活を支援するための協力体制をつくっています。

**顧客満足度の向上をめざして**

**清水** グループホームも運営していますよね。

**山形** 「愛の家」グループホームとして、全国に206カ所運営しております。ケアスターとしてもご入居者に安心して共同生活をお過ごしただけのように福祉用具の提供に努めております。グループホームは共同生活の場所です

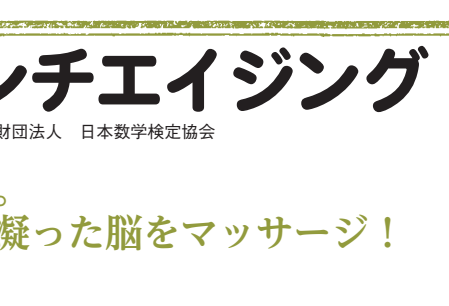
株式会社ケアスター 代表取締役社長 **山形 浩昭氏**

「2012年、認知症介護の情報ポータルサイト“認知症きらきらネット”を開設しました。正しい知識を提供する講座や全国のイベント・セミナー情報、インタビュー、お悩み相談などで認知症に関わる人々の後方支援をさせていただいております」



株式会社王子ネピア 代表取締役社長 **清水 紀暁**

「介護施設やグループホームは、建物ができること、ご入居者と一緒に働く職員を集めるだけでは足りない人が大事であるという山形氏の言葉が印象的でした。王子ネピアが提供するサービスも、そこでお役立ていただけるものでありたいと思います」



## 脳のアンチエイジング

出題＝公益財団法人 日本数学検定協会

可能性と必然性。考えることで、凝った脳をマッサージ！

**問題1**

全てのマス目の中に、数字を入れましょう。縦・横それぞれ1～3の数字が1つずつ入ります。そして左肩にある数字は、太線で囲んだマス目の数字の合計です。まんなかに入る数字はひとつしかありません。

5	3		
	3	4	
			4
3			

**問題2**

レベルアップしましょう。こんどは縦・横それぞれ1～4の数字が1つずつ入ります。左肩にある数字は、太線で囲んだマス目の数字の合計です。

7	8		
	5	9	
	8	3	

**答え**

2	1	4	3
4	1	4	
3	2	2	1
4	3	2	1
1	4	3	2

3	2	1
1	3	2
2	1	3

### 日々のお悩みをご相談ください

ケアサポート事業本部 おむつ塾

ネピアテンダーおむつ塾は、「お世話をする方、される方、どちらの方にとっても“テンダー（やさしい）”をモットーに、ネピアテンダー商品のより快適で効果的なご使用方法のご紹介や、排泄に関するお困り事の解決策と一緒に探るお手伝いをさせていただいております。排泄や紙おむつに関するお悩み事を一度ご相談ください。私たちと一緒に解決しませんか。皆様の毎日の生活がより良いものになりますように、お手伝いさせていただければ幸いです。



気づけば変わる！

## 楽ラク心身術

冬は体が硬くなりがち。足腰の筋肉や関節の柔軟性が下がると、けがの原因になります。ストレッチなども効果的ですが、次に紹介する「いつでもどこでもできる1分間ケア」で、疲れをためないのも有効。

①歯をかみしめると、ほお骨の下の「咬筋（こうきん）」が盛り上がり、そこに親指の付け根の肉厚な部分を当て、ほ

ほ笑みながら円を描くようにほぐします（20回）。

②ほお骨の外側（横）に親指の付け根の肉厚な部分を当て、顔の中心（鼻）に向かってほお骨を閉じるように押します。

③鼻の脇から顔の外側に向かって、人さし指と中指の腹でほお骨を開くように押します。各1秒間×15回。ほお骨をケアすると、腰からひざ周りの骨も整うのです。

体のパーツは互いに関連し、心につながっています。今回紹介した顔への刺激は、足腰に働くと同時にストレスをやりわらげ、やる気を起こしてくれます。

顔への刺激で足腰をケア

### 社員ボランティアレポート

ネピアテンダー被災地高齢者支援活動 **支える人を支えよう！**

## 温かさと勇気をいただきました

ケアサポート事業本部 東京支店 西田貴紀

11月20日から22日までの3日間、CSR活動のサポートスタッフとして、福島県にある「まごころサービス福島センター」でお手伝いをさせていただきました。ボランティアとしての参加でしたが、被災者の方々から多くのことを学び、人のために役に立ちたいという気持ちが強くなりました。

1日目はデイサービスでお手伝いをした後、仮設住宅を訪問。どちらも、みなさんが温かく迎えてくださいました。2日目には被災者の方と一緒に、ノルディックウォーキングというスポーツに参加しました。参加者の多くが浪江町の帰還困難区域にお住まいだったので、浪江町や家族のことなどを話しながらウォーキングをしました。その後は映画上映のお手伝いをし、一緒に「ALWAYS 三丁目の夕日」を観賞しました。

活動中にみなさんの優しさや、明るく前向きな姿に心を打たれました。中でも印象に残ったのはノルディックウォーキングで一緒に歩いた浪江町のお蕎麦屋さんのお話です。移動の車中、このお蕎麦屋さんが流れていた音楽を福島復興の曲に変え、明るく「俺今通っているこの道に蕎麦屋を作って蕎麦街道にしたいんだよねー」とおっしゃいました。

この言葉を聞いて、ただシンプルに自分も頑張らなければいけないと感じまし



た。自分の置かれている現状がいかに甘くて、いかに前向きに行動していないかを痛感したからです。この一言が深く心に残り、目標に向かって今まで以上に頑張るために、背中を押していただいた気がしました。今回の活動で出会った方から多くの温かさや勇気をいただきました。今回得た経験を自分も誰かに返せるよう日々行動したいと思います。